



[今月の聖書]

C1809『忠実な人を』

「人が若い時にくびきを負うことは、良いことである。」(哀歌 3:27)

「この律法の書をあなたの口から離すことなく、昼も夜もそれを思い、そのうちにしるされていることを、ことごとく守って行わなければならない。そうするならば、あなたの道は栄え、あなたは勝利を得るであろう。わたしはあなたに命じたではないか。強く、また雄々しくあれ。あなたがどこへ行くにも、あなたの神、主が共におられるゆえ、恐れてはならない、おののいてはならない。」(ヨシュア記 1:8,9)

「サムエルは言った、／「主はそのみ言葉に聞き従う事を喜ばれるように、／燔祭や犠牲を喜ばれるであろうか。見よ、従うことは犠牲にまさり、／聞くことは雄羊の脂肪にまさる。そむくことは占いの罪に等しく、／強情は偶像礼拝の罪に等しいからである。あなたが主のことばを捨てたので、／主もまたあなたを捨てて、王の位から退けられた。」(サムエル上 15:22,23)

「しかし主はサムエルに言われた、「顔かたちや身のたけを見てはならない。わたしはすでにその人を捨てた。わたしが見るところは人とは異なる。人は外の顔かたちを見、主は心を見る。」(サムエル上 16:7)

「あなたの受けようとする苦しみを恐れてはならない。見よ、悪魔が、あなたがたのうちのある者をためすために、獄に入れようとしている。あなたがたは十日の間、苦難にあうであろう。死に至るまで忠実であれ。そうすれば、いのちの冠を与えよう。」(黙示録 2:10)

お元気でお過ごしでしょうか。猛暑と台風の8月も過ぎて9月に入りました。信仰の姿勢を整えて進みましょう。今月のテーマは「忠実な人を」です。レイモンド・エドマン著「人生の訓練」をベースに学んで来ましたが、テキストでは第12講「信頼性の訓練」となっています。旧約聖書のヨセフ、モーセ、ヨシュア、そしてダビデを上げて、神に祝福された人々は小さいことにも忠実であったと語っています。もちろん新約聖書の弟子達やパウロ、弟子のテモテも忠実であったが、主イエス・キリストこそ神の召しに忠実なお方でした。神に信頼される人が求められています。私は50年間伝道して来て、優れた器であったのに、信仰を失い、惨めな人生を歩んだ人々を見て来ました。何の才能もなくとも、忠実で輝かしい信仰生活を貫いた神に選ばれた人々も見て来ました。何が違うかと言えば、神を愛し、小さいことにも忠実であったかということではないかと思えます。私も「召された目標からそれず、休まず、諦めず、落胆せず、従って行く道を走り抜くことができるように」と願っています。どうぞ神に信頼される忠実なクリスチャンの生き方を求めてください。そこに真の幸福と生き甲斐があります。祝福をお祈り致します。

(お知らせ)

* 地区集会のご案内

9月4日(火) 13:00 CFI 千葉集会

(千葉駅前センシティタワー22階東天紅 千葉支店 Tel.043-238-5555 お問い合わせ杉田敦子 09069568706)

9月11日(火) 13:00 CFI 横浜集会(福音喫茶メリー Tel.045-231-6773)

9月19日(水) 11:00 CFI 賛美の集い(自由が丘チャペル)、14:00 ジョイコーラス

9月20日(木) 11:00 バイブルアカデミー(自由が丘チャペル、受講料3000円 要登録)

* 9月11日(火) 19:00 東日本大震災復興支援超教派一致祈祷会(淀橋教会)

* 9月8日(土) 19:00 土佐教会「秋のチャペルコンサート」

9日(日) 10:30 土佐教会特別伝道礼拝「無くてならぬもの」説教小田彰

(日本キリスト教団土佐教会 〒780-0863 高知市与力町5-18 Tel.0888727127)

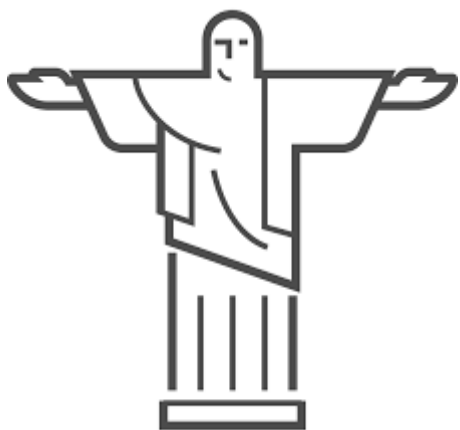
* 9月1日(土) 13:30 「大震災復興支援メサイア2018」紀尾井ホール(全席自由席3000円)

CD(2000円)、DVD(3000円)予約受付中

* ライトハウスから「ヘンデル作曲メサイア…奇蹟のオラトリオ」が出版されました。小冊子ですが、メサイア誕生の秘話を立体的に語っています。解説CDもついています(1000円)。

「ブラジルからの祈りに支えられて」(後編)

山田君子(山梨県)



6月の農繁期に入り(まだ人手間と牛馬の農業の時代)、よく働く事が美德の風習により、どこの家も朝4時頃から夕は8時頃まで働くのが常でした。病後の私は倒れる寸前の苦しみとなり、必死に父なる神に助けを祈り求めました。もうギリギリの時、天気予報も報じていなかった大雨が降り奇跡の休養を頂きました。まさに神の恩寵であり忘れる事ができません。

田舎ではキリストを信じる人はいないと思っていました私に、少し離れたところの一軒のお宅の婦人がイエス様のお写真を飾っていることを子供さんが教えて下さいました。30年来結核で寝たきりから、快方に向かわれて祈りの友とお交わりしていらっしや

いました。この河合峯子姉は、教会にいけない私のためにご配慮下さいました。「二人または三人が私の名によって集まるところには、私もその中にいるのである。」このみことばの通り、走り寄るようにして、私のこと、実家のこと、妹や姉のこと、試練のただ中にある友のことなど祈って頂きました。また讃美歌を教えて頂き、祈りに叶うみことばを指し示し、励まし慰めて、よく導いて下さいました。その方のお父様は校長先生もされた方で、90歳近くなられて、からだの弱い娘さんを残して召されるのを心配しておられました。ある夜、私は御霊に押し出されて、キリストをお褒めさせて頂きました。それが一番残される方への祝福になると示されたからです。病床ノートに「君子さんが来てくれて嬉しい。嬉しい。キリストにて式す」と遺言された紙を見せて下さり、翌朝、安らかな寝顔で召されたとの知らせを頂き、上よりのご愛と感謝しました。

ブラジルの兄は一介のサラリーマンでしたが、信仰によりその働きは祝され、今年の秋6度目の訪日を許されました。ご聖霊に従って大勢の方々とお交わりをし、福音を伝え、祈り、証をし、讃美歌を大声で歌い、愛と祝福に溢れ、楽しく意義深い姿で、天地を創造された方が常に兄と共におられることをわからせて頂きました。

何故主人の救いが応えられなかったか、どうすれば日本人がこの大いなる救いに近づけるか教えられました。まるでヨセフのように、地球の裏側から祈りを捧げ、両親兄弟姉妹を尊い愛の神に導いて、助けて下さった兄の信仰に心より感謝します。全地の主にある兄弟姉妹のとりなしの祈りに御礼を申し上げます。人の生も死も司られる力あるお方、人を死より命へはっきりと導いて下さる希望の主イエス・キリストに一人でも多くの方が出会って下さるよう願って止みません。

「求めよ、そうすれば与えられるであろう。捜せ、そうすれば見いだすであろう。門を叩けそうすれば開けてもらえるであろう。」(マタイ 7:7)

*この証は、2006年に書かれ、2017年10月受領したお手紙の中にあつた手書き文の要約です。